

平成29年度～平成35年度 社会福祉法人朝倉恵愛会 社会福祉充実計画

1. 基本的事項

法人名	社会福祉法人朝倉恵愛会		法人番号					
法人代表者氏名	蓮池 年民							
法人の主たる所在地	福岡県朝倉市入地治部の下 2262 番地 1							
連絡先	0946-52-1144							
地域住民その他の関係者への意見聴取年月日	—							
公認会計士、税理士等の意見聴取年月日	平成29年 5月 30日							
評議員会の承認年月日	平成29年 6月 14日							
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (単位：千円)	残額総額 (平成28年度末現在)	1か年度目 (平成29年度末現在)	2か年度目 (平成30年度末現在)	3か年度目 (平成31年度末現在)	4か年度目 (平成32年度末現在)	5か年度目 (平成33年度末現在)	合計	社会福祉充実事業未充当額
	572,670 千円			別紙①				
うち社会福祉充実事業費(単位：千円)								
本計画の対象期間	平成29年4月1日～平成36年3月31日							

2. 事業計画

実施時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	施設整備の有無	事業費
1か年度目						
	小計					
2か年度目						
	小計					
3か年						

度目						
	小計					
4か年度目						
	小計					
5か年度目						
	小計					
6か年度目						
	小計					
7か年度目	いしづえ荘 在宅建替工事	社会福祉 事業	既存	建築後41年(H29年5月現在)を 経過した既存建物の建替え工事を 行う。	有	1,160,300 千円
	小計					1,160,300 千円
合計						1,160,300 千円

※ 欄が不足する場合は適宜追加すること。

3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
① 社会福祉事業及び公益事業（小規模事業）	建築後41年(H29年4月現在)を経過した既存建物があり、耐震設計等当時のままとなっており、今後耐震工事・修繕費用等もかさむ事が考えられ、建替え工事を行うこととした。
② 地域公益事業	①の取り組みを実施する結果、残額は生じない為、実施はしない
③ ①及び②以外の公益事業	①の取り組みを実施する結果、残額は生じない為、実施はしない

4. 資金計画

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
いしずえ荘 在宅建替え 工事	計画の実施期間に おける事業費合計							
	財源構成	社会福祉充実 残額			別紙②			
		補助金						
		借入金						
		事業収益						
		その他						

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「資金計画」を作成すること。

5. 事業の詳細

事業名	いしずえ荘在宅 建替え工事	
主な対象者	—	
想定される対象者数	—	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	平成35年4月1日～平成36年3月31日	
事業内容	<p>建築後41年(H29年5月現在)を経過した既存建物があり、耐震設計等当時の基準ままとされており、今後耐震工事・修繕費用等もかさむ事が考えられる。</p> <p>その為、既存施設近くの当法人所有の敷地に、既存施設と同規模の建物を建設する。</p>	
事業の実施スケジュール	1か年度目	
	2か年度目	
	3か年度目	
	4か年度目	
	5か年度目	

	6か年度目	<ul style="list-style-type: none"> ・建設工事内容の検討 ・施工業者の選定
	7か年度目	<ul style="list-style-type: none"> ・建替え工事
事業費積算 (概算)	福祉医療機構のデータに基づき、平成28年度における福祉施設の建設費の状況について、特養における平米単価は、全国平均が283千円であった。 既存施設と同等程度建物を建設予定：4,100平米 建替え費用：283千円×4,100＝1,160,300千円	
	合計	1,160,300千円（うち社会福祉充実残額充当額572,670千円）
地域協議会等の意見と その反映状況		

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由

既存建物は、H29年5月現在時において建築後41年を経過し、対応年数である39年を既に超過している状況で、すぐにでも建替えを計画する必要があるが、資金調達において当法人が所有する有価証券の満期が平成32年度までにすべて満期を迎える予定で、その満期を待って建設計画に取り組みたい。

しかし、平成32年度は2020年開催の年でもあり、オリンピック・パラリンピックに向けた工事や再開発による建設需要はオリンピック後も依然として高いと予想されることから、建築費の高騰が落ち着くまでの期間を加味して、2023年頃の施設整備を予定したい。

別紙①

会計年度別の社会福祉充実残額の推移

会計年度別の社会福祉 充実残額の推移 (単位：千円)	残額総額	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	6か年度目	7か年度目	合計	社会福祉充実 事業未充当額
	(平成28年度末現在)	(平成29年度末現在)	(平成30年度末現在)	(平成31年度末現在)	(平成32年度末現在)	(平成33年度末現在)	(平成34年度末現在)	(平成35年度末現在)		
	572,670千円	572,670千円	572,670千円	572,670千円	572,670千円	572,670千円	572,670千円	0千円		572,670千円
うち社会福祉 充実事業費(単位： 千円)		0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	▲572,670千円	▲572,670千円	

別紙②

資金計画

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	6か年度目	7か年度目	合計	
いしずえ荘 在宅建替え 工事	計画の実施期間における事業費合計							1,160,300 千円	1,160,300 千円	
	財源構成	社会福祉充 実残額							572,670 千円	572,670 千円
		補助金							250,000 千円	250,000 千円
		借入金								
		事業収益								
その他	94,000 千円	75,000 千円	100,000 千円	86,270 千円				337,630 千円		